

# 安全データシート (SDS)

作成日 2006年3月30日

改訂日 2017年1月20日

## 1. 化学品（製品）及び会社情報

製 品 名 : JA-600 クリーンルーム養生用フィルム(空調ダクト養生用マスキングフィルム)  
 会 社 名 : 株式会社ジャパンアイビック  
 会 社 住 所 : 〒262-0045 千葉市花見川区作新台5丁目4番1号  
 担 当 部 門 : 開発営業部  
 電 話 番 号 : 043-259-9461  
 F A X 番 号 : 043-259-9571  
 緊 急 連 絡 先 : 043-259-9461  
 整 理 番 号 : 0021

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分 類 : 分類基準に該当しない。

危険有害性 : 通常の状態では特に有害性はない。

環 境 影 響 : 現在のところ知見なし。

但し、長期間分解しないため、鳥や魚などの野生動物が誤って食すると、死亡することがある等の環境汚染の原因あり。また、焼却した場合、眼、鼻、喉の粘膜を刺激するガスが発生。

物理的及び化学的危険性 :

可燃性固体で消防法指定可燃物にあたる。通常取り扱いでは危険性はないが、粉塵を発生すると粉塵爆発の危険性を有する。加熱溶解した場合に火傷に注意。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化 学 品 : ポリエチレン、アクリル酸エステル共重合体

成 分 及 び 含 有 物 : ポリエチレン 85%以上、アクリル酸エステル共重合体 15%以下  
 銅フタロシアニンブルー1%未満、その他添加剤 3%未満

化学式又は構造式 :  $[\text{CH}_2-\text{CH}_2]_n$ 、  

$$\left[ \begin{array}{c} (\text{CH}_2-\text{CH})_x (\text{CH}_2-\text{CH})_y \\ | \qquad \qquad | \\ \text{COOR} \qquad \text{COO-NHR}' \end{array} \right]_n$$

化審法 既存化学物質登録No. : ポリエチレン (6) - 1

アクリル酸エステル共重合体 分類できない

銅フタロシアニンブルー 5-3299  
 その他添加剤 分類できない

安衛法官報公示整理番号：対象外

CAS No. (米：Chemical, abstract 記載No.)：

ポリエチレン 9002-88-4  
 アクリル酸エステル共重合体 分類できない  
 銅フタロシアニンブルー 147-14-8  
 その他添加剤 分類できない

国連分類 : 危険物に該当しない。 国連番号：該当なし。

#### 4.応急措置

目に入った場合 : 直ちに多量の水で 15 分以上洗眼する。洗眼中眼瞼は十分開いて、あらゆる部位まで水が行き渡るようにする。決して目をこすってはならない。  
 目に異物感があれば、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 熔融物の場合は、直ちに清浄な水で冷やす。  
 皮膚上の固まった樹脂を無理に剥がさない。  
 火傷があれば医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 分解ガスを吸入した場合は、新鮮な空気の場合に移し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 大量の水を飲ませて、直ちに吐かせる。  
 異常を感じた場合には、医師の診断を受ける。

#### 5.火災時の措置

消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、大量の水、消火剤を使用して消火する。  
 消火作業は風上から行い、呼吸保護具を着用する。

消火剤 : 泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水

#### 6.漏出時の措置

該当しない。(フィルム状の固体のため漏出ししない)

#### 7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い : 通常の手扱いで良いが、ロール状の製品をほどいたり巻いたりする時に強い静電気が発生することがあるので、適宜静電除去装置を設置する。

保管 : 雨・風・日光に晒されない屋内で、常温で貯蔵する。  
 貯蔵場所では、みだりに火気を使用しない。

#### 8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 設定されていない。

設備対策 : 粉塵が発生する作業や、熔融等蒸気、ガスが発生する場合は、局所排気装置を使用する。

保護具 呼吸用保護具 : 通常の状態では必要ない。高温に加熱され、分解ガス中に人体が暴露される場合は、エアラインマスクを使用する。

保護眼鏡 : 通常の状態では必要ない。必要に応じて使用する。

保護手袋：通常の状態では必要ない。必要に応じて使用する。

保護衣：通常の状態では必要ない。必要に応じて使用する。

---

#### 9.物理的及び科学的性質

外 観 等：ブルー、フィルム状の固体

沸 点：該当しない。

蒸 気 圧：該当しない。

揮 発 性：通常の状態では認められない。

融 点：90～145℃（DSC 法）

比重又は嵩比重：0.88～0.95

初 留 点：該当しない。

溶解度 水：不溶

---

#### 10.安定性及び反応性

引 火 点：200℃以上

発 火 点：340℃以上

可 燃 性：あり。（消防法指定可燃物）

燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素、及びその酸化物を生成する。

発火性（自然発火性、水との反応性）：なし。

酸 化 性：なし。

自己反応性・爆発性：なし。

粉塵爆発性：粉末状の状態では、爆発性混合気を形成する場合がある。

安定性・反応性：一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。

---

#### 11.有害性情報

下記項目についてのデータは殆どないが、一般的取り扱いにおいては有害性はないと思われる。

皮 膚 腐 食 性：知見なし

刺激性（皮膚、眼）：知見なし

感 応 性：知見なし

急 性 毒 性（50%致死量等を含む）：知見なし

亜急性毒性：知見なし

慢 性 毒 性：知見なし

が ん 原 性：知見なし

変異原性（微生物、染色体異常）：知見なし

生 殖 毒 性：知見なし

催 奇 形 性：知見なし

---

#### 12.環境影響情報

分散性：なし

蓄積性：なし

魚毒性：なし

---

---

その他：データは知られていないが、鳥類、魚類等が摂取することが有り得るため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

---

### 13.廃棄上の注意

原則として廃棄物は焼却または埋め立てによって処理する。焼却する時は、焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処理を施し焼却する。埋め立てる時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理する。

---

### 14.輸送上の注意

国際規制：分類基準に該当しない。

国連番号：分類基準に該当しない。

国連分類：分類基準に該当しない。

国内規制：適用法令を参照。

輸送の特定の安全対策及び条件：

重量物のため、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。梱包ケースが水濡れや破損しないように、取り扱いに注意する。火気や高温度の物体を避ける。

---

### 15.適用法令

消防法：指定可燃物 合成樹脂類（指定数量 3,000 kg）

廃棄物の処理および清掃に関する法律：産業廃棄物、廃プラスチック類

適用法規情報：

本製品を弊社用途目的以外にご使用の際は、国内外の法令規制を貴社の責任においてご確認ください。また本製品を海外へ輸出する場合は、当該国の法令、規則等を確認の上、遵守してください。

---

### 16.その他の情報

記載内容の取り扱い

この危険有害性情報は、工業的用途について一般的な取り扱い等を前提に作成したものです。

従って、実際の取り扱い等においては、ここに記載した危険有害性情報を参考にし、十分な注意の上取り扱って下さい。

---